

分野：生態系・生物多様性

## 夜の観察会（ライトトラップ）

環境アドバイザー

吉野修弘

対象 小学生～大人

所要時間  3 時間

場所 川口見沼自然の家

実施時期 令和2年8月2日

## 概要

夜の自然観察会で夜咲く植物や、夜活動する動物を実際に体験し、との中でライトトラップを行ない、明りに集まる虫の話をする  
(コロナ対応の為、5つのグループに分け行動しました)

プログラムの  
ねらい

- ①夜活動する生きものがたくさんいる事を理解する
- ②普段あまり観察する事のない1mm～5mmの虫がライトトラップに多く集まるので、小さい虫が多くいる事を分かってもらう
- ③夜咲く花に集まる虫を実際に見てもらう

## プログラムの内容

- ①夜咲く花 ②夜活動する虫
  - ③夜咲く花に付く虫
  - ④夜活動に動くエビヤ貝
  - ⑤ライトトラップ
  - ⑥ホタルの観察
  - ⑦セミの羽化
- ※各班ごとに回りながら  
①～⑦を観察  
※私は昆虫が専門なので  
ライトトラップを中心に虫の話をしました。



受講者の反応 ライトトラップの虫は、子供～大人まで喜んでいた。

- ①カブトムシ、クワガタ、カミキリムシが集まる
  - ②ウンカやショウジョウバエ等の虫(小さい)が300個体くらい集まる
  - ③めずらしい虫(ミミズクや4ヶ所スズメバチ)が集まる
- 夜咲く花(マッコヨイグサやカラスウリ)に、多くの虫が集まり、マメコガネが、マッコヨイグサの花びらを食べていました。

# (ナイトの等空齋)

お新程



谷のなかで



の材器が林蒸る  
 を新丁の等空齋  
 がJ齋屋コー  
 (中開お又)

の材器が林蒸る  
 を新丁の等空齋  
 がJ齋屋コー  
 (中開お又)

又の等空齋

と書集材をうしつたに

の材器が林蒸る  
 を新丁の等空齋  
 がJ齋屋コー  
 (中開お又)